

## 板橋トラックターミナル全体再開発 2021年4月に着手



＜板橋トラックターミナル A 棟(仮称)、B 棟(仮称)＞

### 【板橋トラックターミナル概要】

住 所: 板橋区高島平6-1-1

敷地面積: 115,828 m<sup>2</sup>

供用開始: 1970年10月

アクセス: 都営地下鉄三田線

「西高島平駅」徒歩1分

首都高速池袋線

「高島平IC」から1.8km

日本自動車ターミナル株式会社(本社所在地 東京都千代田区・代表取締役社長 秋山 俊行)は、2021年4月より板橋トラックターミナル(板橋区高島平)全体再開発に着手し、第一弾として二層式バース専用施設「A棟(仮称)」および「B棟(仮称)」を建設することといたしました。供用開始から50年を迎えようとしている施設の老朽化対策はもちろんのこと、首都圏物流のニーズと社会の諸要請に応えながら、物流環境の変化にも的確に対応できる新たなトラックターミナルとして運営してまいります。

この度の板橋トラックターミナル全体再開発は、構内全てのバース施設、配送センター施設を更新するため、長期にわたり大規模工事を連続して行うこととなりますが、トラックターミナルの基本機能であるバース施設を優先的に更新し、特別積合せ貨物運送事業各社様へのご負担軽減と早期の新施設提供を目指すことが当社の使命であると考えております。

そのため、二層式バース専用施設とすることで、再開発工事期間を大幅に短縮するとともに、柱などの障害物を可能な限り抑え、また構内テナント各社における事業連携・共同化にも貢献できる使いやすい施設となることを目指しております。また、接車部にはシャッターを標準装備し、風雨対策やセキュリティ面での向上も図ります。

2021年4月より解体・建設工事に着手し、現在の3、4号棟跡地に建設するA棟(仮称)は2023年春、1、2号棟跡地に建設するB棟(仮称)は2025年春の竣工を予定しております。

なお、構内南側となる5号棟から8号棟の跡地については、今後の物流ニーズと需要動向を鑑みながら、改めて再開発計画を検討していく予定です。

今後も日本自動車ターミナル株式会社は、首都「東京」が抱える物流の課題に応える大都市物流戦略「メトロポリタン・ロジスティクス※」の具現化に向けたトラックターミナルの再開発を進めてまいります。

※首都圏における物流拠点に求められる4つのアドバンテージ①リードタイム(配送時間の短縮)②レイバー(労働力確保)③キャリアリンク(輸送モードの連携)④コンティニューイティ(事業継続)を備えた施設

以上